

令和3年度自主防災隊 10月例会



秋の避難訓練（安否確認）は、十一月二十八日（日）に開催されます。

10/9（土）17:30～19:00 つくし野コミュニティセンターにて

①（星野隊長挨拶）

一昨日の大きな地震、自主防災隊でも無線がちゃんと働けるかチェックが必要、備えを怠らないようにしよう。

②（秋の避難訓練について、西野）

10/10付の実施要項（回覧）を基に、広報車、防災隊員の配置、班員リスト、班会議後の一斉清掃、雨天時の対応などについて説明と確認がなされた。

③（避難所開設訓練について、渡辺）

11/21に行われる4自治会合同の訓練はつくし野小において行われるが、星野隊長始め1・2丁目自治会から隊員5名が参加する。

④（避難所開設マニュアル補足説明書について、渡辺）

「今あるマニュアルでは実際に誰がどうやって動くか？わからない。誰がどうするのか分かりやすいものを作ろう」と提案され、WGが、「震度6弱以上の大地震が発生したときに、つくし野小学校が避難施設として開設運営される際の手順を自治会関係者向けに実践的に記載されたもので、この度立派な冊子ができ上がった。1・2丁目自治会では、今年度班長に配布と住民には回覧をする。

⑤（その他）貝がら公園と宮前公園の防災倉庫の棚卸しをいつ行うか？「OKプレート」は「無事です」シートに換える（1,000枚、18万円、市からの補助金8万円）。

⑥（10/7夜、首都圏で最大震度5強の地震がありました）

「OKプレート出さなかった」、「震度6の時どうするか本当に考えないといけない」、「阪神淡路大震災のときは、ガラスの破片、ドア開かない、電灯落下、ピアノ動く、トイレ使えない、火災発生など、家の中はむちゃくちゃで、防災でやるような悠長な状況ではない、せいぜい震度6に対応できる指針でしかない」という意見が寄せられた。

（文・写真：細見）